

東濃信金、新本店始動

創立100周年記念「前進の年に」

東濃信用金庫は4日、多治見市本町に完成した新本店で営業を開始した。開店前に、加知康之理事長らがテープカットをしてオープンを祝った。

15日に創立100周年を迎えるのを記念し、旧本店南側に建設を進めてきた。9階建ての建物は浸水対策

で地盤を1層かさ上げしたほか、地元産タイルや県内産木工家具を多用した。

市原好二会長らと共にテープカットした加知理事長は「100年続き、新築できたのは地域の皆さまのおかげと感謝し、思いを込めて造ってきた。内装にタイルや東濃ヒノキなど地元産



新しい本店が開店し、テープカットに臨む(左から)加知康之理事長、市原好二会長ら＝多治見市本町、東濃信用金庫

を使っており、PRにつながれば」と期待を込め、「周年行事を1年かけて行う。前進の年としたい」と飛躍を誓った。